

## プレス向け情報提供

2011 年 8 月 31 日付

9 月 8 日（木）、世界 15 カ国以上の NGO がメンバーとなった「北朝鮮における人道に対する罪を止める国際 NGO 連合」（ICNK）を設立いたします。

同日午後 3 時からこの設立を発表する記者会見を開催するほか、前日 9 月 7 日（水）には国際会議、9 月 8 日（木）午後 5 時から総連前での抗議デモも開催いたします。皆様に取材いただけましたら幸いです。

### ●「北朝鮮における『人道に対する罪』を止める国際 NGO 連合」（ICNK）設立発表記者会見●

日時： 2011 年 9 月 8 日（木） 午後 3 時 - 4 時

会場：日本外国特派員協会（FCCJ）

〒 100-0006 東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル北館 20 階  
03-3211-3161

地図：<http://www.fccj.or.jp/aboutus/map>

言語：英語、日本語

参加方法：日本外国特派員協会の会員でない方は、同協会まで電話（03-3211-3161）でご予約下さい

#### スピーカー：

Dr. Oh Kil Nam（呉吉男 オ・ギルナム）：脱北者。1992 年脱北。以来、妻と二人の娘は未だに強制収容所に収監されている。初のメディア会見

河泰慶（ハ・テギョン）：Open North Korea（韓国）代表

フィル・ロバートソン：国際 NGO Human Rights Watch アジア局長代理

ベネディクト・ロジャース：Christian Solidarity Worldwide 東アジア局代表

### ●金正日政権による「人道に対する罪」に抗議する「民衆への祈り & 政権への怒り」国際デモ ●

日時： 2011 年 9 月 8 日（木）午後 5 時 -- 5 時 30 分

場所：在日本朝鮮人総聯合会（朝鮮総聯）中央本部前  
東京都千代田区富士見 2-14-15

内容：デモ当日は、翌日 9 日の北朝鮮建国 63 周年を祝うイベントが朝鮮総連で行なわれます。これにあわせ、世界各国の人権リーダーである「北朝鮮での『人道に対する罪』を止める国際 NGO 連合」（ICNK）のメンバーや脱北者を中心に、金正日政権による「人道に対する罪」に抗議します。20 万人といわれる人びとが収監中の強

制収容所から人びとが自由になることを祈り、現在収監中と判明している 600 余名の氏名を記したハトの風船を空に放つデモンストレーションも行ないます。

## ● 北朝鮮人権国際会議 ●

—脱北者、北朝鮮専門家、世界各国の NGO、人権活動家が語る北朝鮮の今—

【 Inaugural Conference of the International Coalition to Stop Crimes Against Humanity in North Korea (ICNK) 】

Co-host : Christian Solidarity World, Human Rights Watch, Open North Korea

共催: 明治大学

日時: 2011年 9月 7日(水)午前 9時 15分 ~午後 4時 45分

会場: 明治大学アカデミーコモン 2階 ビクトリーフロア

東京都千代田区神田駿河台 1-1

※ JR・地下鉄「御茶ノ水駅」と地下鉄「新御茶ノ水駅」から徒歩 2分

※地下鉄「神保町駅」「小川町」駅から徒歩 5分

地図: [http://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/suruga/access.html](http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html)

言語: 日本語、英語

参加方法: 9月 6日正午までに、[tokyo@hrw.org](mailto:tokyo@hrw.org) あて、タイトル「メディア登録: 北朝鮮国際会議」として、ご氏名、ご所属、人数、カメラでの撮影がある場合はその旨をお知らせ下さい。

### 会議内容 (予定) :

#### 基調講演 / ご挨拶

中川正春 衆議院議員 (北朝鮮の難民と人権に関する国際議員連盟 共同議長)

Hwang Woo-yea (黄祐呂 ファン・ウヨ) 韓国ハンナラ党議会代表 (floor leader)

(日北朝鮮の難民と人権に関する国際議員連盟 共同議長)

#### ビデオメッセージ

金泳三 韓国元大統領

Hyun Byung Chul (玄炳哲 ヒョン・ビョン Chol) 韓国国家人権委員会 議長

#### 第一セッション: 人権侵害のサバイバー / 関係者たちの証言

Kim Tae Jin (金泰振 キム・テジン): 脱北者 (元ヨドク強制収容所収容者)、Democracy Network against North Korean Gulags 代表

Kim Hye Suk (金恵淑 キム・ヘスク): 脱北者 (プクチャン強制収容所に 28 年間収容されていた)

Jung Gwang Il (鄭光日 チョン・グァンイル): 脱北者 (元ヨドク強制収容所収容者)

チャールズ・ジェンキンス氏 ( Charles Robert Jenkins ) : 拉致被害者、曾我ひとみさんの夫

### 第二セッション：国際 NGOと法律家から

Jack Rendler, Amnesty International 北朝鮮スペシャリスト  
Benedict Rogers, Christian Solidarity World (CSW) 東アジア局代表  
Patrick Burgess, International Center for Transitional Justice アジアプログラム  
Melissa Pack, The Aegis Trust 国際正義プログラム首席弁護士  
Phil Robertson, Human Rights Watch アジア局局長代理

### 第三セッション：国際社会の反応

David Hawk, コロンビア大学 人権研究センター客員教授  
Kim Tae Hoon ( 金泰勳 キム・テフン ), 韓国 国家人権委員会委員  
日本の国会議員 ( 交渉中 )  
ヨーロッパ政府代表者 ( 交渉中 )

### ● 9月7-8日 一連の北朝鮮人権イベント開催の背景：

世界三大国際 NGO --- アムネスティ・インターナショナル、ヒューマン・ライツ・ウォッチ、 FIDH (International Federation of Human Rights)--- が、北朝鮮の金正日政権による「人道に対する罪」を非難し、これを止めるための国際ムーブメントを作り出すため、東京に結集します。

北朝鮮で暮らす多くの人びとは、今日も深刻な人権侵害に苦しんでいます。

多くの子どもたちが、家族ごと強制収容所（政治犯収容所）に送られて、いつ終わるとも知れない奴隷労働を強いられています。拷問や公開処刑も頻繁です。強制失踪 / 拉致の被害者が解放されていないこともご周知のとおりです。

このような北朝鮮における深刻な人権侵害をとめるため、9月8日（木）、欧米や韓国日本はもちろん、フィリピンやインドネシア、ペルーなど世界約 15 カ国から 30 以上の人権団体が結集し世界「北朝鮮における『人道に対する罪』を止める国際 NGO連合」（ ICNK）を結成することとなりました。

その前日である 9月7日（水）には、北朝鮮国際人権会議を開催し、世界各地から、人権活動家、人権弁護士、北朝鮮専門家、政治家、各国政府大使館などが集まり、金正日政権による「人道に対する罪」を検証するとともに、これを止めるための行動について話し合います。また、金正日政権による人権侵害の被害者である脱北者や元強制収容所被収容者、日本人拉致被害者家族の方々も参加されます。こうした人びと

によって鮮明に語られる人権侵害の数々は、金正日政権による「人道に対する罪」の現状を浮き彫りにするでしょう。

9月 8日（木）午後 3時からの記者会見では、1986年に北朝鮮工作員の誘いにより北朝鮮に入国し 1992年に脱北した Oh Kil Nam氏が、初めてメディアに姿を現します。彼の妻と 2人の娘は未だに 15号ヨドク強制収容所に収監されているとみられます。

9月 8日に設立予定の「北朝鮮における『人道に対する罪』を止める国際 NGO連合」（ICNK）は、金正日政権に対し、公開処刑や拷問などの「人道に対する罪」を直ちに止め強制収容所を解体するように北朝鮮政府に求めるとともに、国連に対し、北朝鮮での人権侵害の実情を調査するための国連事実調査委員会（UN Commission of Inquiry）の設立を求めて活動していく予定です。

●問い合わせ

ヒューマン・ライツ・ウォッチ

日本代表 土井香苗

03-5282-5160, 090-2301-4372, [doik@hrw.org](mailto:doik@hrw.org)